

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権メッセージ】	全学級で「人権メッセージ」に取り組み、各学級で「人権」とは何かを話し合った。自分の大切さとともに他の人の大切さを深めるようなメッセージを作成することができた。
	成果 児童一人一人が、いじめ、男女平等、人種など人権に関わる様々な問題について考えることができた。また、教師自身も、道徳や学級活動など、他の時間に人権教育を意識した取り組みを行うことができた。
	課題 幅広い人権問題についてのテーマを掲げたので、難しかった。発達段階を考慮して、「友だち」「家族」「外国人」など、わかりやすい内容のテーマで考えるなどの手立てが必要だと思われた。
2 実践2 【いじめゼロ集会】	運営委員会を中心にリモートでいじめゼロ集会を開いた。「いじめとは何か」「どうしていじめが起きてしまうのか」というテーマを中心にスライドを作成し、全校児童に向けて発表した。また、事前に各学級でいじめについて考え、「いじめゼロスローガン」として作成したものも紹介した。
	成果 徳島県教育委員会のいじめ防止動画を引用することにより、いじめはやってはいけないという意識付けができた。話合いの中で、今までの自分の行動を振り返り、見直そうとする会話も聞かれた。また、見て見ぬふりもいじめにつながるなど、動画の中でも紹介されており、より、理解が深まった。
	課題 発達段階に応じて、もっと「いじめ」を身近なことととらえられる題材があるとよかった。また、学級だけでなく、異学年で交流しながら話し合う機会があるとよかった。